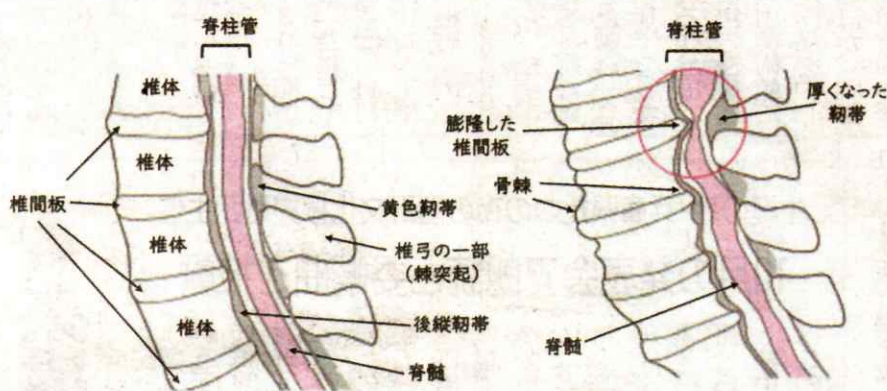


脊椎と脊髄の断面 (正常と脊柱管狭窄症)



オムロンヘルスケア・ホームページ：腰部脊柱管狭窄症とは何か？ 原因と症状/腰の痛み/から許可を得て引用 (一部改変)

⑩ もう一つの間欠性跛行

人生100年時代の健康管理 桐生大学桐生短期大学部副学長 山科 章



【プロフィール】広島県生まれ。1976年広島大学医学部卒業後、聖路加国際病院内科勤務。99年東京医科大学循環器内科主任教授。2020年から現職。総合内科専門医、日本循環器学会専門医、元日本循環器病予防学会理事長。

なり、休憩すると治まる状態、前回は血管が原因となる末梢動脈疾患について紹介しました。今回は、神経が原因で間欠性跛行になる代表的な病気である腰部脊柱管狭窄症(きょううきゅうくわんさうさう)について紹介します。

間欠性跛行(はこ)とは歩くときふくらはぎなどにだるさや痛みが起こって歩行が困難になるような管のことを言います。椎骨は複雑な形をしており、前方に支柱となる椎体(白の形)があり、後方は椎弓につながっています。椎体と椎弓の間には椎孔という隙間があり、積み重なった椎骨の中で椎孔は上下につながって脊柱管を作り出します。脳から続く脊髄は脊柱管の中を

3層の膜(髄膜)に包まれており、その間のスペースは脊髄液で満たされています。髄膜の一番外側は最も丈夫な硬膜があり、その前方には後縦靭帯、後方には黄色靭帯がありま

す。椎間板は椎体と椎体の間にありクッションの役割をしています。脊髄は、脳に近い部分から頸髄(けいずい)、胸髄、腰髄、仙髄、尾髄に分けられ、下端は馬のしっぽの形をした馬尾神経で終わります。各椎体には「椎間孔」と呼ばれる穴があり、脊髄から分かれた末梢神経はこの椎間孔を通過して体の隅々ま

で分布します。脊髄が狭くなるにつれて、脊髄が圧迫されやすくなります。脊髄が狭くなることにより、脊髄や神経根や馬尾神経が圧迫されるようになり、神経への血流が低下するため脊柱管狭窄症の症状が起こります。

年をとると椎体は変形してとげのように張り出したり(骨棘)こびりつき、椎間板が膨らんで後方に突出したり、神経の背中側に黄色靭帯が厚くなったりして神経の通る脊柱管や椎間孔が狭くなる

間欠性跛行は脊柱管狭窄症の代表的な症状ですが、片側でも両側でも起こります。そのほかの症状には、感覚神経の症状として臀部

で分布します。脊髄が狭くなるにつれて、脊髄が圧迫されやすくなります。脊髄が狭くなることにより、脊髄や神経根や馬尾神経が圧迫されるようになり、神経への血流が低下するため脊柱管狭窄症の症状が起こります。

は「神経根」と呼ばれ、圧迫されやすい部分です。年をとると椎体は変形してとげのように張り出したり(骨棘)こびりつき、椎間板が膨らんで後方に突出したり、神経の背中側に黄色靭帯が厚くなったりして神経の通る脊柱管や椎間孔が狭くなる

◆毎週月曜連載 桐生大学・桐生大学短期大学部副学長の山科章さんは、同大学医療保健学部の学生などに講義も開講している。

保健・福祉

Table with columns: 疾病名, 3週間前報告数, 2週間前報告数, 1週間前報告数, 今週の報告数. Rows include Influenza, COVID-19, etc.

群馬県の感染症サーベイランス (5月22～28日)

新型コロナ 大きな流行の再燃なく 幼稚園への道すがら、つないだ手を素直に振り上げて歩く子どもの姿からは元気がはち切れんばかりです。気兼ねすることなく大きな声で歌ったり、ふざけあつたりしてほいほいものです。

はやってる病気は? すが、今のところは桐生地区では大きな流行の再燃とはなっていない様子です。引き続き、周りの状況に合わせた感染対策を一人ひとりが行うよううにしてください。県内では中西毛地域でヘルパンギーナが報告を増やしており、今後の流行地域拡大に注意が必要です。(5日、桐生市医師会)

Advertisement for AED installation. Includes logos for AED, and a grid of participating organizations like 恵愛堂病院, 中島歯科医院, 岸病院, etc.